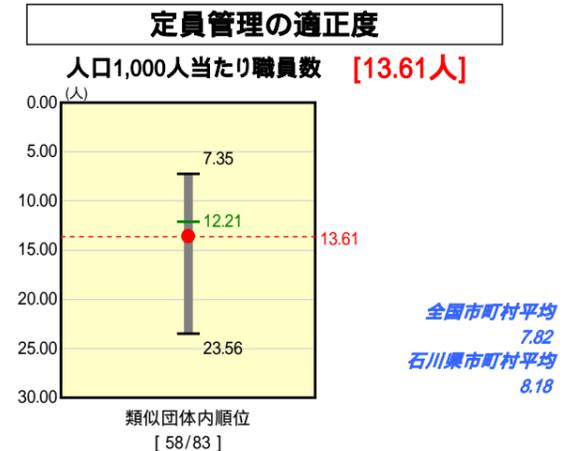
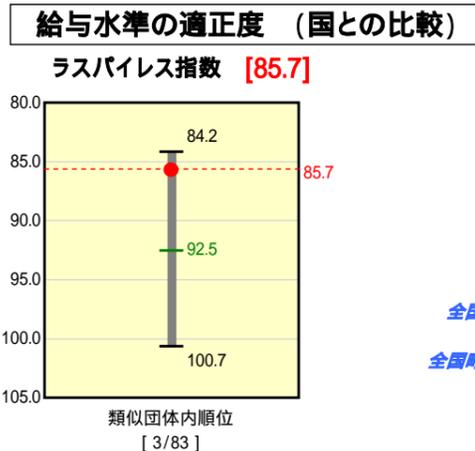
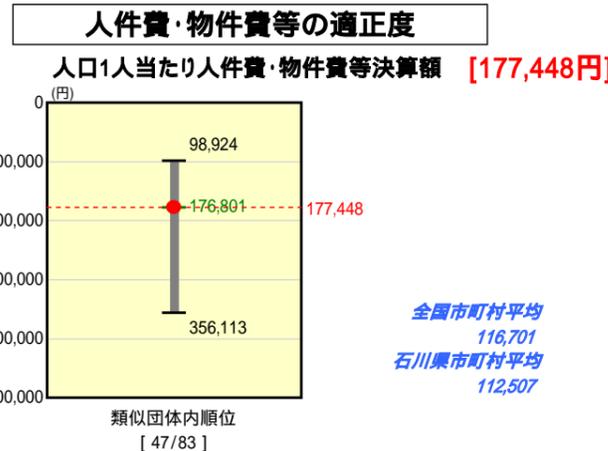
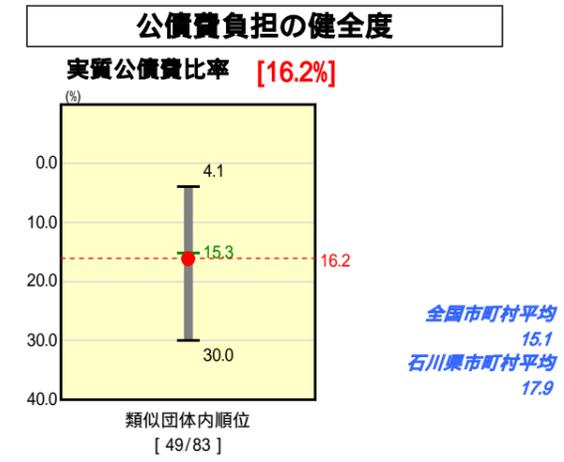
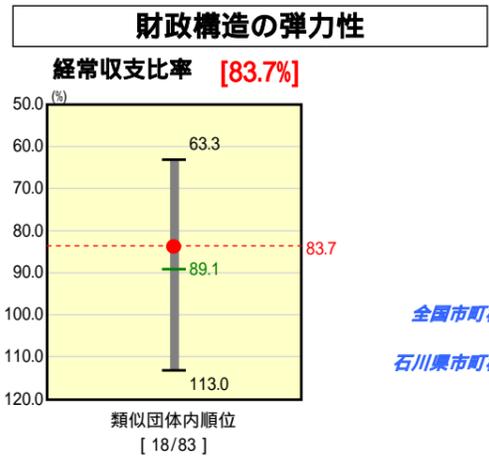
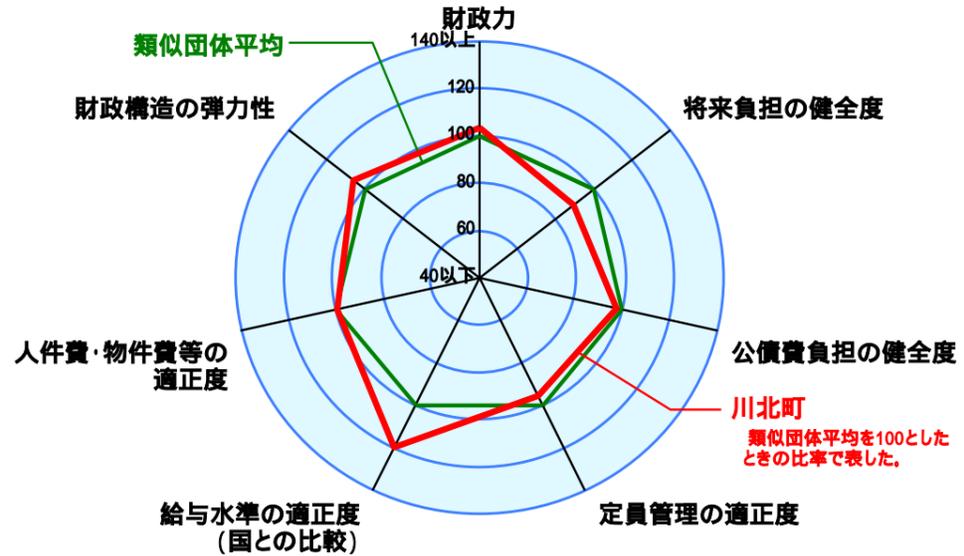
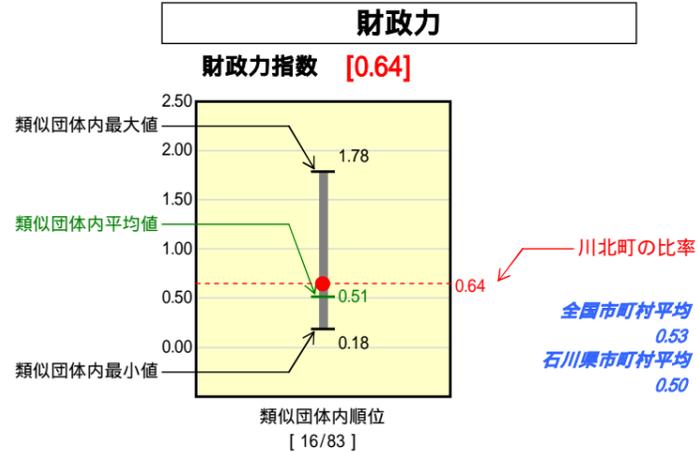


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

石川県 川北町

人口	5,876	人(H19.3.31現在)
面積	14.76	km ²
歳入総額	3,537,308	千円
歳出総額	3,455,203	千円
実質収支	70,117	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数:
企業誘致等により、人口規模を上回る税金があるため、類似団体平均値を上回り、0.64になっている。現在町内企業で大規模な投資がなされており、平成19年度以降は大幅に上昇すると考えられる。

経常収支比率:
人口規模を上回る税金と経常経費の節減により、類似団体でも上位、県内最上位となっているが、近年上昇傾向にある。今後も、行財政改革を引き続き断行し、安定した財政運営に取り組んでいく。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
人件費の抑制や経常経費の節減により、類似団体の平均となっているが、近年上昇傾向にある。平成20年度予算においても経常経費の5%削減など歳出抑制策に取り組んでおり、引き続き行財政改革を推進していく。

人口1人当たり地方債現在高:
地方債現在高は、前年度より増加し、類似団体の平均を上回っている。平成9年度から平成13年度を中心とした大型建設事業の実施により、県内市町村平均を上回っている。今後は今まで以上に普通建設事業の抑制、定期的な繰上償還により、地方債現在高の減少に努めたい。

実質公債費比率:
公営企業に係る元利償還額が少ないこともあるが、平成20年度以降に元利償還金が大幅に増えることもあり、今後は上昇することが予想される。このため新規発行の抑制や定期的な繰上償還により、実質公債費比率の伸びの抑制を図りたい。

人口1,000人当たり職員数:
近年保育所児童が大幅に増加しており、十分な保育に必要な保育士の数も増えているが、新規職員採用せずに臨時で対応している。今後は平成17年から22年までに職員数を6.7%削減するとして町の集中改革プランの実現に向けて、適正な職員数に努めていきたい。